

無料ショートセミナー

未来の常時運航を支える
次世代インフラと社会実装の最前線

11:00～

スタート

AL-23(「FUKUSHIMA DRONE」ブース内)



イームズロボティクス株式会社
代表取締役社長 曾谷 英司



MC
小野 美希

テーマ

EAMSが福島から発信する

ドローン社会実装(物流・消防・防災・地域DXなど)の最前線と今後の展望

福島を拠点とする強みとは？

福島ロボットテストフィールド
絆特区
福島県の支援
社会受容性 他



新技術実装連携“絆”特区の取組方針（案）【指定区域：福島県・長崎県】

2024年6月4日
国家戦略特別区域諮問会議
資料1より抜粋

新技術実装連携“絆”特区が目指す姿（目標）

- 地理的に離れた複数の自治体が連携して、共通の課題解決に取り組む「**連携“絆”特区**」として、両自治体の連携による取組を強力に推進する。
- **買い物困難等**の共通の地域課題を抱える**福島県及び長崎県が連携**し、両地域のポテンシャルを活かしながら、離島等の地域や移動が困難な方々をはじめ、様々な地域・方々にとって利便性の高い**ドローン配送を全国に先駆けて実現**するなど、**新技術の早期実装**を図る。

【福島県】

ドローン関連の
技術・産業の先進地域

- 「福島ロボットテストフィールド」において、900を超える実証事業
- 周辺には約80社のロボット関連企業が新規進出



【長崎県】

日本一の有人離島数
ドローン実証の先進地域

- 海上での日用品等のドローン配送を実装済
- 地域住民や事業者の理解・参画により、多数のドローン実証を実施



EAMSが目指す『ドローンビジネスの全体像』

EAMSが目指す『ドローンビジネスの全体像』

物流

最前線と今後の展望

EAMSが目指す『ドローンビジネスの全体像』

消防・防災

最前線と今後の展望

地震
山火事
鳥獣害
水害
陥没
台風



EAMSが目指す『ドローンビジネスの全体像』

地域DX

最前線と今後の展望

ドローンが拓く 地域DX の未来像

人口減少や少子高齢化が進む地方都市において、ドローンは新たな「空のデジタルインフラ」として機能し、持続可能な地域社会の実現を力強く支えます。



物流・医療のスマート化

買い物困難地域への生活物資オンデマンド配送や、緊急時における医薬品・検体の高速搬送網を構築します。



一次産業の超省力・効率化

AI空撮データと連動したピンポイント薬剤散布や、広大な農地・漁場の一元監視により、労働負担を劇的に軽減します。



防災・インフラの無人巡回

アクセス困難な橋梁やダム of 自動点検、災害発生時の迅速な被災状況の空撮など、地域の安全を24時間守ります。



ご清聴ありがとうございました
イームズロボティクス株式会社



問い合わせ先

事業推進本部 本部長 宇田丞

メールアドレス sales@eams-robo.co.jp